

あいさい通信

発行：あいさいボランティアガイドの会 編集：若山
愛西市森川町井桁西 27 愛西市観光協会内
電話：0567-55-9993

自然の宝庫 木曽川



木曽川のオオタカ

愛西市観光協会では、8月の週末に木曽川で「漁業体験」を開催します。子供達を対象に、砂浜が広がる木曽川の干潟で観光船を利用した地引網、シジミ採りなど実施します。7月15日現在、定員に余裕がある週末もありますので、参加を希望されるご家族は、観光協会(0567-55-9993)へ問い合わせ下さい。

愛西市を流れる木曽川には、治水のためデ・レーケが設計したケレップ水制があり、そこにはワンドが発達しています。ワンドには葦や柳などの植物が生え、昆虫や魚類など多様な生物に住处を提供しています。そして、それらを餌に鳥も多く生息し、生態系の頂点にはオオタカ(写真は幼鳥)がいます。一般にオオタカの棲息は豊かな自然が保たれている証拠とされています。また、木曽川では、水棲生物調査による水質調査も実施され、綺麗な水と評価されています(今年の調査は、8月10日(水)に馬飼大橋右岸で開催です。ただし、参加募集は終了しています)。夏休みは木曽川での自然探索に良い機会です。水難事故に気をつけてお楽しみ下さい。

舞妃蓮 について (お詫び)

先月『あいさい通信 23号』の表紙で、「和歌山県御坊市様から花蓮の名所である愛西市に『舞妃蓮』をいただきました。6月20日現在、赤い蕾が出てきており、まもなく、優美で艶やかな高貴な蓮が開花します」と掲載しましたが、筆者の早合点で、読まれた方、関係者の皆様に多大な迷惑をおかけしました。深くお詫び申し上げます。

しかしながら、7月9日の「蓮見の会(2頁参照)」には、寄贈いただいた「舞妃蓮」も見事に咲きました(左写真)。「舞妃蓮」の特徴は、蕾も花も黄白色系で、花卉の先がピンク色で花卉は爪状です。蓮見の会では、たくさんの花蓮の中、清楚な花を愛でながら御坊市のみなさんと交流することができました。



7・8月の子供行事

愛西市など西尾張地域では、7～8月に子供達を中心となって行う、津島神社の神葎信仰に伴う祭事や、仏教の地藏信仰に伴う行事が開催されています。これらの行事は、集落によって名称も内容も規模もまちまちですが、この地方特有の夏の子供達の文化として注目されます。

その中で、特に注目すべき祭事として、

8月 7日 3時～ 内佐屋町 子供サイレイ

8月 15日 4時～ 森川町 盆たたき

などがあります。



蓮見の会

今年も「蓮見の会」が愛西市森川町の森川花はす田で開催されました。7月9日（土）は残念ながら生憎の雨模様となり、予定されていたオープニングセレモニーは中止となりました。また、10

日（日）は、猛暑となって熱中症危険予報が発令されるほど良く晴れました。

蓮見の会では今年、名鉄佐屋駅から会場へのシャトルバス運行を実施しましたが、120人以上の方にご利用いただきました。ご遠方よりの来会ありがとうございました。

また、催事として、野点、俳句投稿、蓮の写真募集、佐屋高校生によるハス回廊などがあり、野点は完売、「名前に『蓮』が入る人いらっしやい！」では、翠蓮さんら26名に記念品が贈呈されました。



風流な象鼻杯

蓮見の会会場では、一部の方が象鼻杯（ぞうびはい）をされていました。象鼻杯とは、昔中国の貴族階級が暑気払いの楽しみとしていた行事に由来し、花蓮を愛でる会などで、蓮の葉を茎の途中で切り落とし、その蓮葉の中心に小穴を開け、穴から酒などの飲み物を注ぎ、反対側の茎の切り口から酒などを飲むことです。飲む姿が象の鼻のように見えます（写真）。象鼻杯は、7月16日（土）午前、赤目町の国音山一心寺でも開催されました。国音山一心寺は曹洞宗の寺院で、江戸時代に尾張藩の要職を務めた赤目横井家の菩提寺です。近年、住職が境内にたくさんの蓮を育てられ、蓮見会を開催されています。この日はたくさんの参拝者が来られました。象鼻杯は蓮の香がお酒に溶け込んで爽やかな味となります。蓮の名所・愛西市、色々な場所で象鼻杯が実施されると良いですね。



長篠古戦場 視察

1575（天正3）年、三河国長篠城（現愛知県新城市長篠）をめぐり、織田・徳川連合軍と武田勝頼軍との間で壮絶な戦いがあり、武田軍は鉄砲隊を揃えた織田・徳川連合軍に敗北し壊滅的な被害を受け、武田家滅亡のきっかけとなりました。決戦地が設楽原だったため設楽原の戦いとも記される、いわゆる長篠の合戦です。

あいさいボランティアガイドの会では、今年の研修旅行として、織田信長に縁のある地であり、新東名高速道路が完成して便利になった、長篠古戦場、新しく出来た道の駅「もっくる新城」を視察しました。

古戦場という広い地域、時間的な制約により資料館のみの見学になりましたが、最後に立ち寄った決戦地に建つ設楽原歴史資料館は立地的にユニークな施設であり、さらに、職員による能弁な説明は、とてもわかりやすく、昔から交通の要衝だった長篠城の地形的な位置付けから、市町村合併に伴う新城市への変化、さらに、新東名開通に伴う現代の経済変化まで学びました。特に、長篠の合戦を本当に見ていたような流暢な解説に見学者一同感心しました。話の中で、館内入口正面に展示されている小学生が卒業記念制作で描いた「長篠合戦図屏風」模写を見ながら説明する手法は、市内観光拠点の設置、将来を担う子供達による事業など、愛西市の歴史観光を考えるヒントになりました。また、長篠城址史跡資料館の展示から、長篠の英雄・鳥居強右衛門の逸話はみなさんの印象に強く残りました。

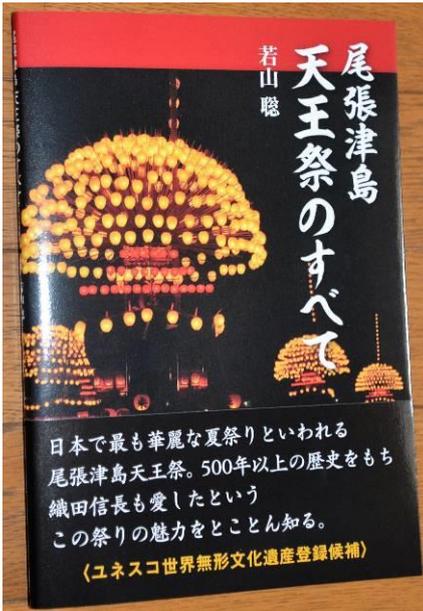
道の駅「もっくる新城」（写真）は、新東名高速道路の新城IC入口に位置し、奥三河の観光情報コーナー、コンビニ、足湯などが併設されています。また、ジビエなど館内のフードコート（食堂）も話題となりました。



～ 観光協会が関連する 今後の予定 ～

- 7月23日（土）尾張津島天王祭 星宮試楽（於：愛西市西保町）
宵祭（於：津島市天王川公園）
- 24日（日）尾張津島天王祭 朝祭（於：津島市天王川公園・津島神社）
- 31日（日）愛西市鵜戸川釣り大会（於：立田庁舎東側の鵜戸川、主催：愛知県）
勝幡夏祭り（於：名鉄勝幡駅周辺、主催：勝幡コミュニティ）
- 8月 6日（土）納涼祭り（佐屋・八開地区）
- 7日（日）漁業体験（於：三和町付近の木曾川河川敷）
納涼祭り（立田・佐織地区）
- 10日（水）木曾川水生生物調査（於：馬飼大橋右岸、主催：木曾川下流河川事務所）
- 21日（日）漁業体験（於：三和町付近の木曾川河川敷）
- 28日（日）漁業体験（於：三和町付近の木曾川河川敷）

7分で『尾張津島天王祭のすべて』がわかる



数分で『尾張津島天王祭のすべて』がわかるガイドブックを販売しています。本書は、愛西市+津島市観光協会推薦となっており、たくさんの美しい写真を掲載した尾張津島天王祭の写真集で、ハンディなガイドブックとして祭を徹底的に案内しています。尾張津島天王祭は今秋ユネスコ世界無形文化遺産に登録される予定となっていますので、故郷から、あるいは、故郷への、帰省の土産としても有用と思います。愛西市観光協会の事務所（「道の駅立田ふれあいの里」）、津島市観光協会の津島駅前総合案内所などでも購入可能です。

題名『尾張津島天王祭のすべて』

(B5判、全68頁、掲載写真60枚以上)

著者：若山 聡、 発行：風媒社

発行日：7月23日、 定価：¥1,200（税別）

販売場所：愛西市観光協会（「道の駅立田ふれあいの里」）他

V G 8月定例会の予定

漁業体験と日程が重なるため、8月定例会は中止とします。

あいさいボランティアガイドの会 7月定例会 議事録

I. 定例会（7月17日（日）9～11時 於：愛西市文化会館、22人出席）

1) 7月末～8月に開催される催事について

①漁業体験について再度協力体制を調整しました。

また、

②木曾川下流域河川事務所主催、水生生物調査

③子供サイレイ（内佐屋町 他）

④盆たたき（森川町）

について、日程などを紹介しました。

2) 関連行事の報告

①研修旅行・・・報告書配布

②蓮見の会・・・実施結果に対する討議

③一心寺（赤目町）での象鼻杯・・・状況報告

④愛知県ボランティアガイド会総会・・・結果報告

II. 歩いて学ぶ市江車行事 散策会（13～15時）

あいさいボランティアガイドの会では、尾張津島天王祭に登場する市江車の準備会場を見学する散策会を開催しました。名鉄佐屋駅を基点に13の方に参加いただき、星大明社、東保八幡社など、また、稚児行列のコースを案内しました。



あいさいさん